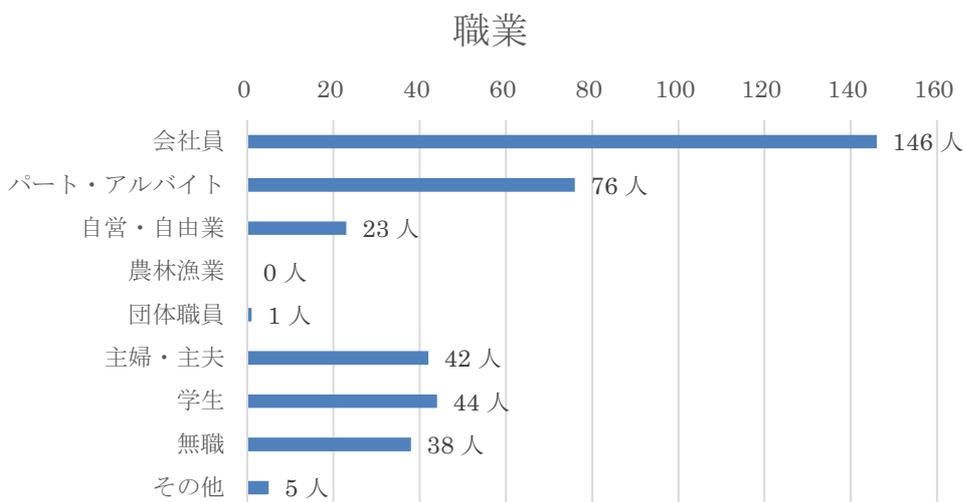
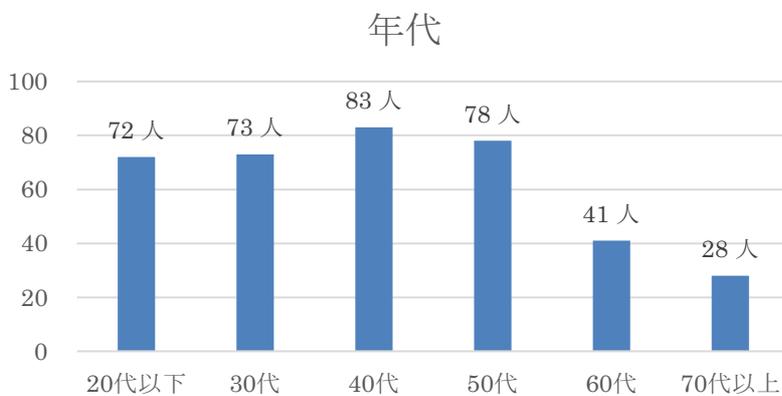


令和4年度 第1回 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

テーマ 「消防団に関するアンケート調査」
調査期間 令和4年6月2日(木)～令和4年6月16日(木)
回答者数 375人
対象モニター数 400人
回答率 93.8%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

【属性】



概 要

1. 消防団について

消防団について、「名前は知っているが活動内容は知らない」が最も多く、次いで「名前も活動内容も知っている」と続きます。このことから消防団について一定の周知がされているものの、活動内容まで把握されていない方が多いことがうかがえます。

2. 消防団のイメージについて

「ポジティブなイメージ」が「ネガティブなイメージ」より約3倍多く、このことから消防団について良い印象を持っていることがうかがえます。

ポジティブなイメージでは、「地域のために頑張っている」、ネガティブなイメージでは、「家族や仕事などへの負担が大きい」が最も多く回答されています。

地域に必要とされている一方で、その負担が大きいと感じていることがうかがえます。

3. 消防団の編成について

現在と同様の「小学校区単位」が「中学校区単位」の約5倍に上りました。「その他の単位」と回答した人は1%でした。

4. 市民が消防団に求める活動について

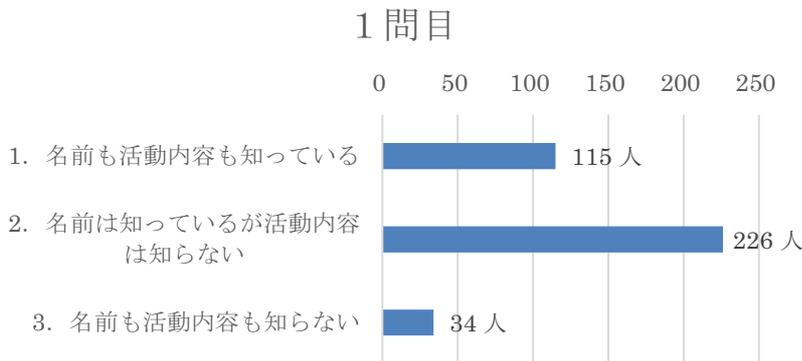
「火災対応」「河川増水、洪水や地震等大規模災害対応」という回答が上位を占め、次いで「災害対応のために行う各種訓練」という回答でした。その一方で、「消防関係式典の参加」が最も低い回答でした。

5. 消防団員の確保について

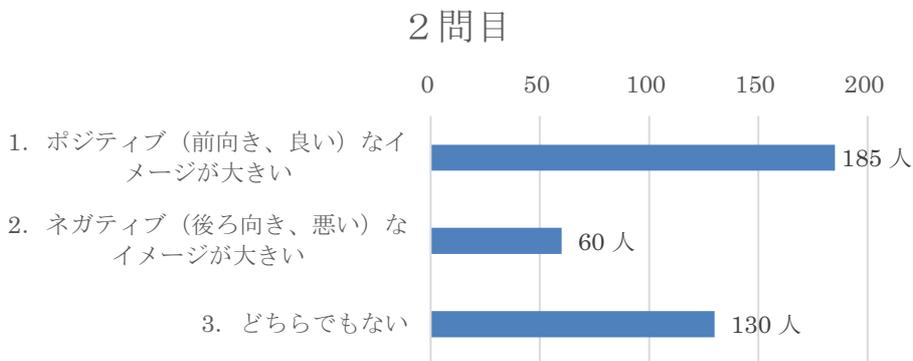
「報酬や手当を改善する」が最も多く、次いで「必要性の低い業務を減らし、負担を軽減する」という回答でした。消防団の処遇改善を求める声と、消防団のネガティブなイメージで最も多い回答が「家族や仕事などへの負担が大きい」であったことから、消防団の負担軽減を求める声が多いことがわかります。

今回のアンケート調査結果を受け、市民からの期待を的確にとらえ、消防団の活動内容を見直し、負担軽減を図るとともに、処遇の改善を行うなど持続可能な消防団組織づくりを検討していきます。

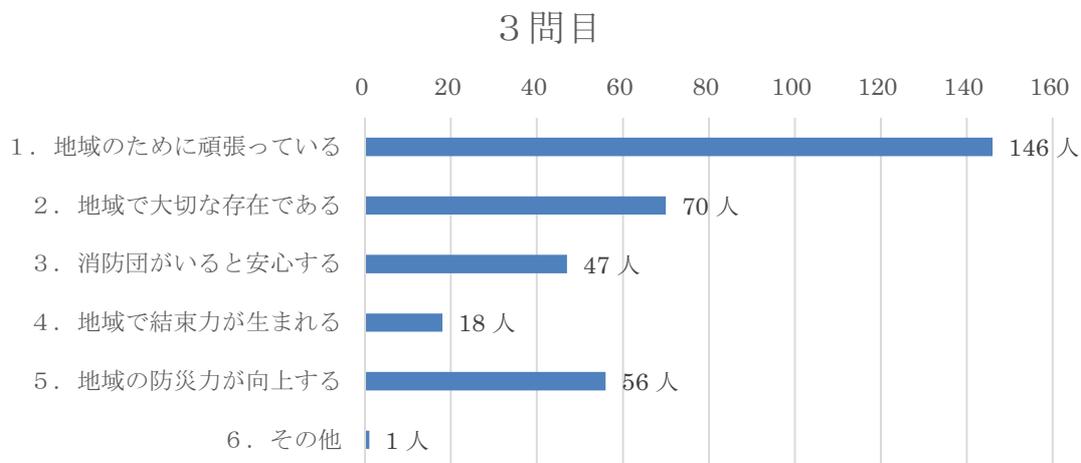
設問 1. 豊橋市消防団を知っていますか。



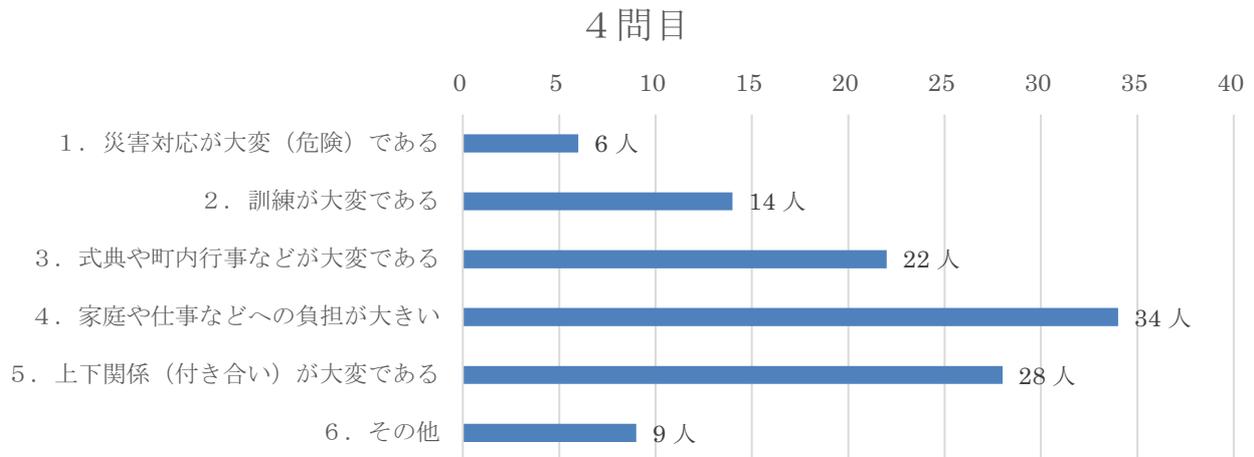
設問 2. 消防団のイメージについて教えてください。



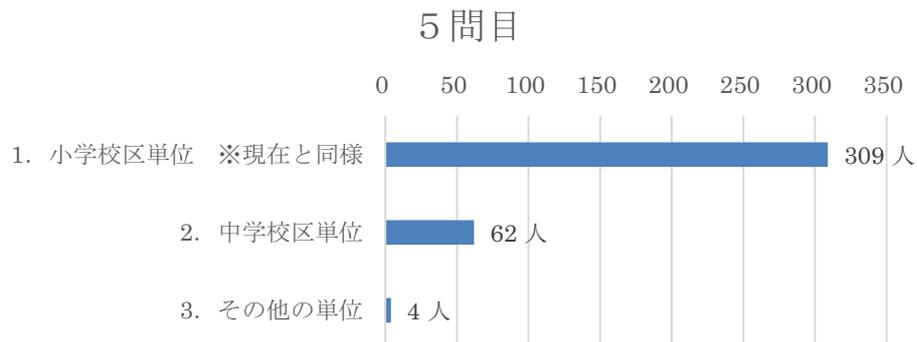
設問 3. ポジティブ（前向き、良い）なイメージとは具体的にどのようなイメージですか。 ※問2で1を回答した方のみ回答（複数選択可）



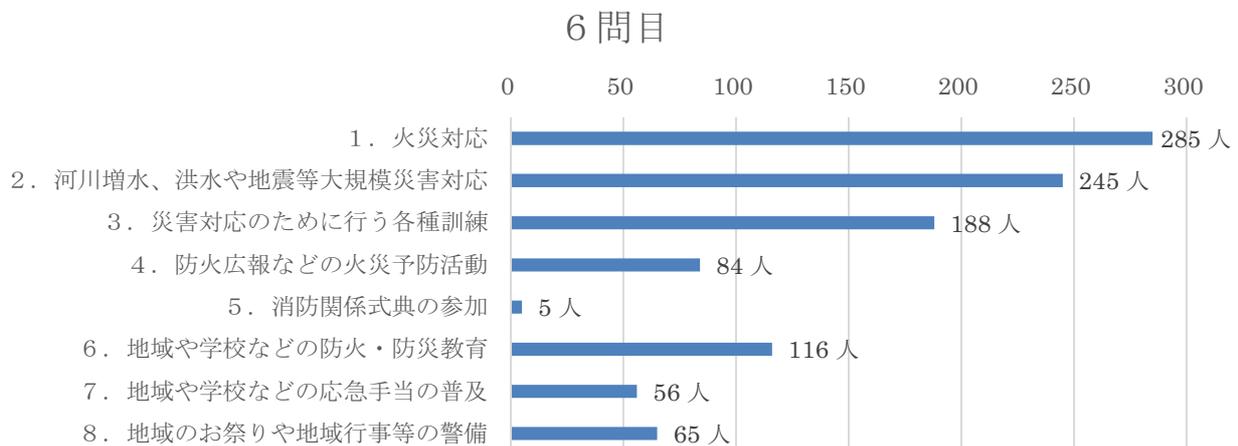
設問 4. ネガティブ（後ろ向き、悪い）なイメージが大きいとは具体的にどのようなイメージですか。 ※問2で2を回答した方のみ回答（複数選択可）



設問 5. 消防団の編成については、原則小学校区を単位として1つの分団を編成しています。望ましいと思う分団の単位についてお聞きします。



設問 6. 消防団は以下の項目すべての活動をしています。消防団に特に期待する活動について優先順位が高いと思われるものを選択してください。（複数選択可）



設問 7. 全国的に消防団員が減少傾向にあります。どのようにすれば入団者が増加すると思いますか。 (複数選択可)

7 問目

